

・児童数及び生徒数は、学力調査を受けた人数

○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

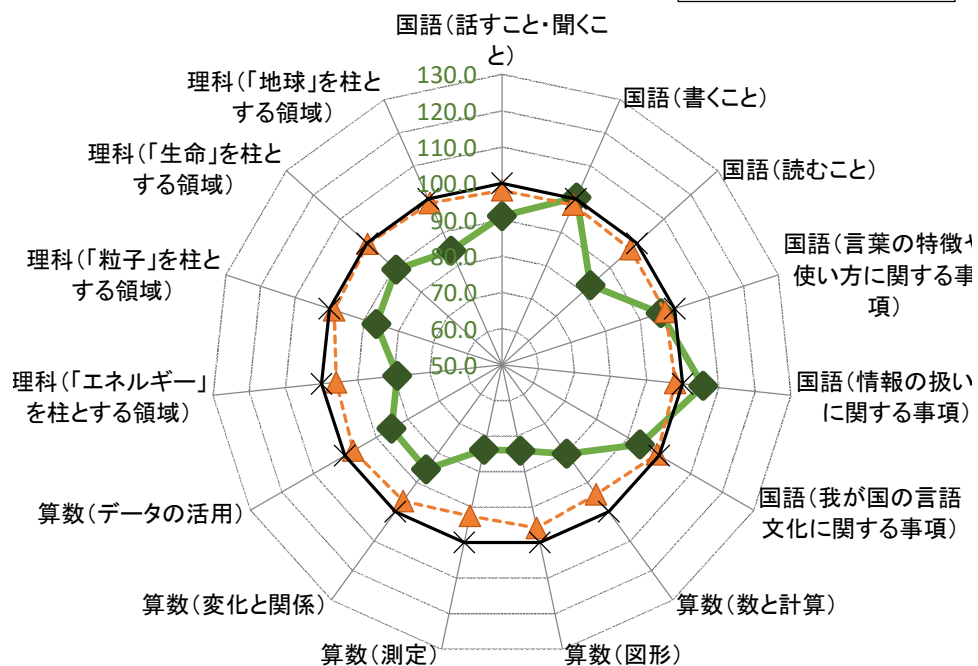
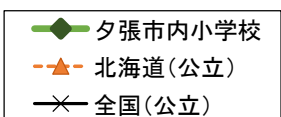
- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

【平均正答率・平均IRTスコア】

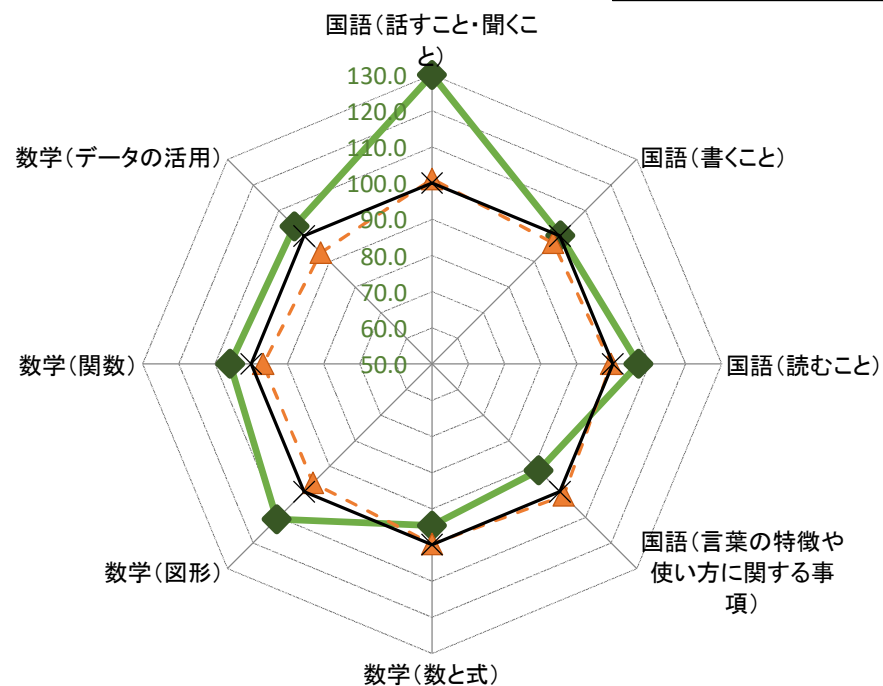
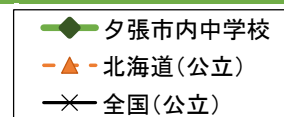
※中学校理科は平均IRTスコア

	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
夕張市	62	47	49	59	50	535
北海道(公立)	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
全国(公立)	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503

小学校



中学校

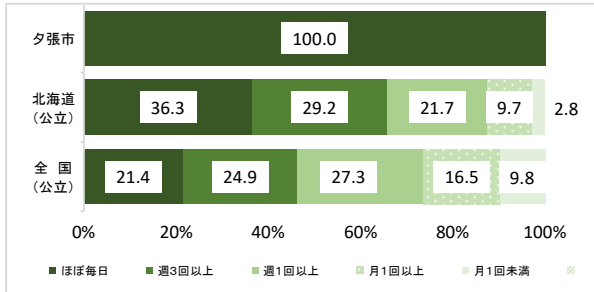


○ 質問調査の状況

小学校

<学校質問>

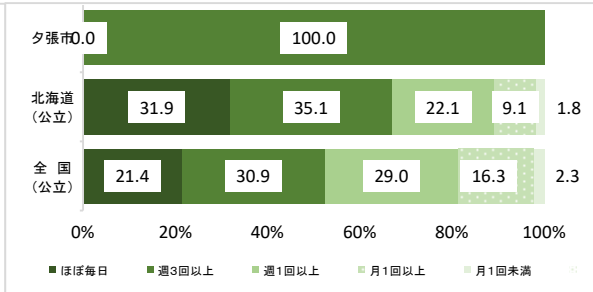
児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



中学校

<学校質問>

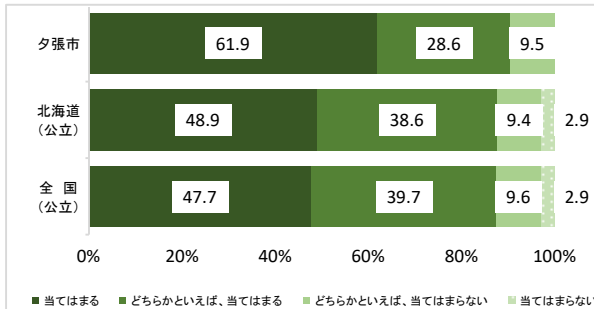
生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



小学校

<児童質問>

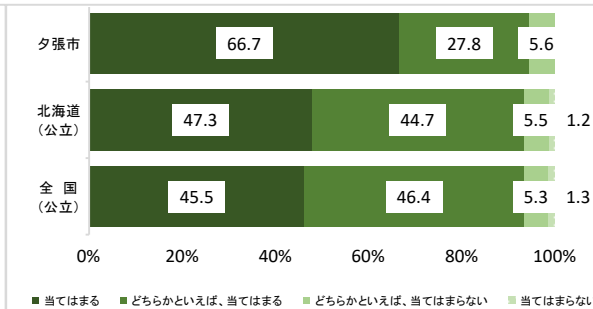
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



中学校

<生徒質問>

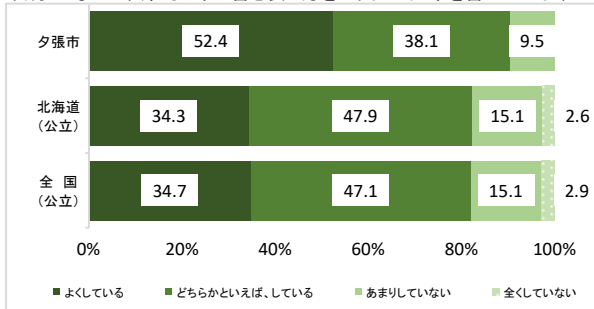
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



小学校

<児童質問>

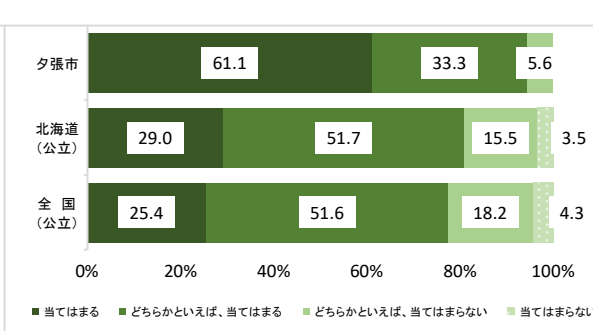
国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたりわくわく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていますか



中学校

<生徒質問>

国語の授業の内容はよく分かりますか



○ 調査結果の分析

小学校において、児童同士がやりとりする場面で、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用したことなどにより、「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う」と回答した児童の割合が全国及び全道の数値を上回ったものと考えられる。

中学校において、生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面で、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を積極的に活用したことなどにより、「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」と回答した生徒の割合が全国及び全道の数値を上回ったものと考えられる。

小学校では、「国語の授業で、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いている」と回答した児童の割合が全国及び全道の数値を上回った。中学校では、「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が全国及び全道の数値を上回った。小・中学校ともに、国語科におけるICT機器の活用による授業改善の成果が表れており、平均正答率については、小学校では全国との差が縮まり、中学校では全国及び全道の数値を大きく上回った。

○ 今後の改善方策

- 児童生徒の授業の理解度等に応じた指導方法の工夫改善を図ることによる児童生徒一人一人の資質・能力を確実に育成する取組の推進
- ICT端末を活用した学習支援ソフトや「家庭学習の手引」による家庭学習の習慣化を図る取組の推進
- 小中一貫教育の取組を基盤とした、学ぶ喜びを感受できる授業づくりと教職員研修の推進